

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

レストランの料理人集団が捕獲から処理加工、販売までを行う一貫体制を構築し、需要に見合った安全・安心なジビエ肉の提供を行うなど新たなビジネスモデルを構築。

株式会社ELEZO社

主な取組（代表取締役社長：佐々木 章太）

北海道豊頃町

- （株）ELEZO社は、捕獲から処理加工、販売まで行う一貫体制を目指して平成17年に創業。
現在は、社員及び社外登録ハンター30名による生産狩猟部門、生肉食材として需要の高い部位を全国約400店舗の登録会員向けに販売する枝肉熟成流通部門、需要の低い部位から加工品を製造するシャルキュトリ製造部門、自社の生肉や加工品を調理、販売するレストラン部門の4部門で事業を展開。
- 代表の佐々木氏をはじめ、社員の多くが料理人でありながら狩猟免許を取得して、地元の鳥獣被害対策協議会の構成員として、需要に見合った食材確保のための捕獲に尽力。また、道のエゾシカ処理施設認証を取得し、衛生管理を徹底することで、安全・安心なジビエ肉の提供を実現。
- このほか、料理人や施設従事者に対する処理加工技術の指導などの人材育成、ジビエ処理施設関係者の視察受入、ジビエ製品や料理の開発など幅広い活動を展開し、自社として捕獲から販売まで一貫体制による先例なきジビエのビジネスモデルを構築。

【年間処理数量 設立当初（平成17年度） 1トン→平成29年度 21トン】